

2021年4月28日

原料費調整制度に基づく2021年6月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社
広 報 部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2021年6月検針分の単位料金を、2021年5月検針分と比べ、1m³(45MJ)につき0.6円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、2021年1月～2021年3月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に36m³のガスをお使いになる標準家庭で2021年5月検針分と比較して、22円(消費税込)ガス料金が上がります。

2021年6月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量 | 料金表A 0～24m ³ | 料金表B 25～500m ³ | 料金表C 501m ³ ～ |
|---------------------------------------|----------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 基本料金 (円/月) | 759.00 | 1,296.10 | 7,612.30 |
| 調整単位料金 (円/m ³) (参考) | 127.30 | 105.75 | 93.13 |
| 5月 調整単位料金 | 126.70 | 105.15 | 92.53 |

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³) | 2021年 5月 | 2021年 6月 | 増減 |
|---|----------|----------|----|
| 適用料金(円/月) | 5,081 | 5,103 | 22 |

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

| | 2020年12月～2021年2月 の平均 (5月検針分) | 2021年1月～2021年3月 の平均 (6月検針分) | 対前期 差額 |
|-------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------|
| 平均原料価格(a) | 21,930 | 22,600 | 670 |
| LNG | 44,960 | 46,060 | 1,100 |
| LPG | 56,070 | 61,220 | 5,150 |
| 基準平均原料価格(b) | 27,350 | | |
| 差額(a-b) | ▲ 5,400 | ▲ 4,700 | 700 |

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} & = & \frac{46,060}{61,220} \times 0.4414 \\
 & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} & = & \frac{61,220}{61,220} \times 0.0371 \\
 & & = & \frac{22,602.14}{22,600} \text{円/t} \\
 & & & \downarrow (100円未満四捨五入) \\
 & & = & 22,600 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 22,600 \text{円/t} & - 27,350 \text{円/t} & = & \triangle 4,750 \text{円/t} \\
 & & & \downarrow (100円未満切捨て) \\
 & & = & \triangle 4,700 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{単位料金調整額} & = \triangle 4,700 \text{円} / 100 \text{円} \times 0.0858^{*1} \\
 & = \triangle 4.04 \text{円}^{*2}
 \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³) | 2021年 5月 | 2021年 6月 | 増減 |
|---|----------|----------|----|
| 適用料金(円/月) | 5,081 | 5,103 | 22 |

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬地区

$$\begin{aligned}
 \text{本体料金(税込)} & = \text{基本料金(1,296.10円)} \\
 & + \text{調整単位料金(109.79円)} + \triangle 4.04 \text{円} \times 36 \text{m}^3 \\
 & \text{料金改定時の基準単位料金(税込) \uparrow} \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)}
 \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。